

カエル調査マニュアル

■方法

- 畔を歩き目撃したカエルの種類と個体数を調査票に記録します。圃場ごとに記録。
- ゆっくり歩き、足元で跳ねるカエルを見つけます。
- 個体数の計測にはカウンターがあれば便利です。

■場所

- 様々な環境（山の近く・家の近く、大きい・小さいなど）が含まれるように集落内の田を選び、その周囲の畔を歩いてください。
- 草刈り直後はカエルが少なくなるので、できるだけ畔の草丈が 20cm 程度の田を選んでください。
- 10 圃場/集落を最低限の目安とします。歩く時間は約 5～10 分/圃場だと思われます。
- 調査後に歩いた圃場を記録してください。正確な地番もしくは地図に記入。

■時期

- 6 月中旬から 7 月に調査してください。

■時間

- 気温が上がらない午前中に調査してください。

■対象種

- 篠山の農地でみられるカエルの種類は次頁の 8 種だと思われます。
- すべて識別できない場合、似た者同士をまとめて記録してもらってもいいです。
- 跳ねたが見失った、種がわからなかった時なども「不明」に個体数を記録してください。

■提出物

- 調査票、地図

■提出期日・方法

- 8 月末までに市役所第 2 庁舎 2 階農都環境課または各支所の窓口にご提出ください。

■問い合わせ

農都創造部 農都環境課 環境創造係 TEL：079-552-1117（直通）

FAX：079-552-2090

メールアドレス：kankyo_div@city.sasayama.hyogo.jp

<p>トノサマガエル</p> <p>田んぼでよくみられるカエル。模様や色は個体差がある。</p>	
<p>ツチガエル</p> <p>ヌマガエルと混同され通称「イボガエル」と呼ばれる。腹に模様があるのでヌマガエルと区別できる。</p>	
<p>ヌマガエル</p> <p>ツチガエルと混同され通称「イボガエル」と呼ばれる。腹に模様がないのでツチガエルと区別できる。</p>	
<p>アマガエル</p> <p>民家の周囲でもよくみられる。緑色で目の後ろに黒い線があることで簡単に区別できる。</p>	
<p>ヤマアカガエル</p> <p>茶色のアカガエルの仲間で主に森林で生活する。背中にある側線が目の後ろで広がることでニホンアカガエル区別できる。</p>	
<p>ニホンアカガエル</p> <p>茶色のアカガエルの仲間で主に森林で生活する。背中にある側線が目の後ろで広がらないことでヤマアカガエル区別できる。</p>	
<p>シュレーゲルアオガエル</p> <p>緑色のアオガエルの仲間。目の後ろに黒い線がないのでアマガエルと区別できる。目のふちが黄色なのでモリアオガエルと区別できる。田んぼで産卵する。</p>	
<p>モリアオガエル</p> <p>緑色のアオガエルの仲間。目の後ろに黒い線がないのでアマガエルと区別できる。目のふちが赤色なのでモリアオガエルと区別できる。池の上の木で産卵する。主に森林で生活する。</p>	

カエル調査票

調査者	男・女	歳
調査日	年	月 日
調査時間	～	
天候	晴れ・曇り・雨	
畔の草丈（平均）	cm	
集落名		
調査した田の地番		

※地番が不明な場合は調査地点がわかる地図を添付してください。

種名	個体数 ※正の字で記録
トノサマガエル	
ツチガエル	
ヌマガエル	
→ツチ・ヌマガエル	
アマガエル	
ヤマアカガエル	
ニホンアカガエル	
→アカガエル類	
シュレーゲルアオガエル	
モリアオガエル	
→アオガエル類	
不明	

注) この調査票は 1 圃場につき 1 枚使用してください。

不足分の調査票は複写してご利用ください。